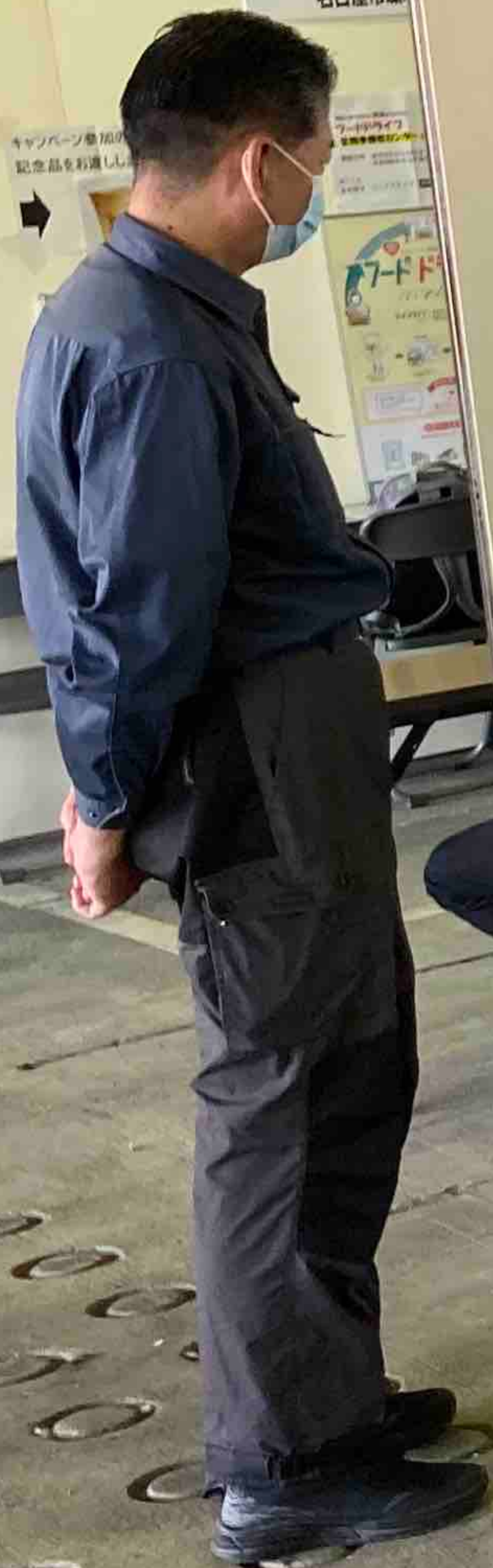


名古屋市立大学生物多様性研究センター  
& 日本ワシタカ研究センター

2R推進実行委員会  
名古屋市環境

ロス 削減月間



日本ワシタカ研究センターの展示パネル。背景には「渡りをするワシタカ類」に関する図解と地図が掲示されている。図解には、オオタカ、ハヤブサ、サシバ、ハチクマの分布と渡りルートが示されている。また、絶滅危惧レベルのワシタカ類のリストも掲載されている。

●ハヤブサ目

▼ハヤブサ

世界最速の鳥。崖に営巣する習性があり、高層ビルを利用して繁殖する事もある。南極とニュージーランドを除く世界各地に広く分布し、生息域に応じた20亜種に分れる。日本を繁殖地とする2亜種のうち、琉球列島に生息していた亜種（シマハヤブサ）は絶滅した。本州等で繁殖する亜種（ハヤブサ）は「種の保存法」の対象種にも指定されている絶滅危惧種。

▼チョウゲンボウ

オス

メス

田畑が広がる地域や市街地を生息地としている。ハヤブサの仲間。繁殖期や工場の換気扇に衝突する事もある。羽の模様も特徴的。

日本ワシタカ研究センターの展示パネル。背景には「渡りをするワシタカ類」に関する図解と地図が掲示されている。図解には、オオタカ、ハヤブサ、サシバ、ハチクマの分布と渡りルートが示されている。また、絶滅危惧レベルのワシタカ類のリストも掲載されている。



オオタカ  
(オス、幼鳥)

オオタカ  
アカマツ等の樹木に営巣。公園の緑地や市街地に隣接する林内で繁殖する事もある。平均的な産卵数は3〜4個。

ハヤブサ  
崖の岩棚やくぼみに営巣。高層ビルで繁殖する事もある。平均的な産卵数は3〜4個。



ハヤブサ

オオタカ豆知識

空腹時

満腹時

大食い

体重1 kgのオオタカは一度に150 g程度の肉を食べる（体重60 kgの人だと9 kg分の食事に相当）

鋭い嘴はフォークとナイフ

嘴は肉を細かくして食べる時に使用。嘴で噛みついて獲物を捕獲する事はない。鋭い爪のある脚で獲物を掴んで捕獲するのが猛禽類の特徴。

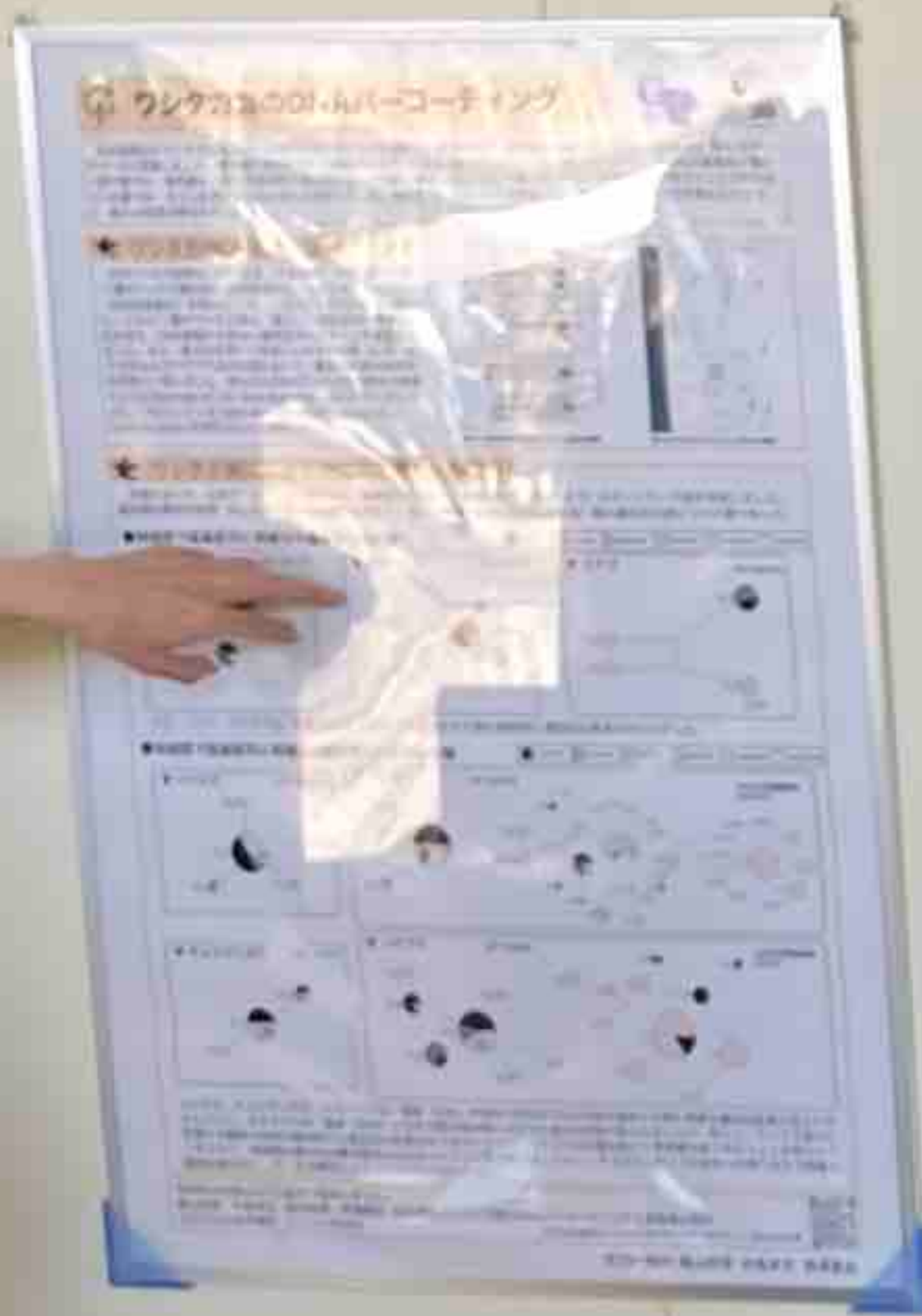
幼鳥と成鳥で色や模様が違う

巣立った時点で体の大きさは親鳥と同じ。幼鳥と成鳥で体格に差はない。成鳥になってからも毎年換羽するが、羽毛の色や模様に変化はない。

日本ワシタカ研究センター



名古屋市立大学生物多様性研究センター  
& 日本ワシタカ研究センター



NO.1

名古屋生物多様性センターまつり